

赤瀬川原平の芸術原論 1960年代から現在まで

“The Principles of Art” by Genpei Akasegawa: From 1960s to the present

2014.10.28 | 火 | - 12.23 | 火・祝 |



《復讐の形態学（殺す前に相手をよく見る）》
1963年 名古屋美術館蔵

展覧会概要

赤瀬川原平 (1937 -) は、前衛美術家、漫画家・イラストレーター、小説家・エッセイスト、写真家といった複数の顔を持つ芸術家です。

前衛美術家としてその経歴をスタートした赤瀬川は、1960年、篠原有司男、吉村益信、荒川修作らとともに「ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ」の結成に参加。1963年には中西夏之、高松次郎と「ハイレッド・センター」の活動を開始し、「反芸術」を代表する作家となりました。またこのころ制作した一連の《模型千円札》が「通貨及証券模造取締法」違反に問われ、1965年より「千円札裁判」を闘うことになった結果、現代美術界の外にもその名が広まって行きました。同裁判の控訴審が終了した1968年頃からは、漫画家・イラストレーターの領域に活動の場を移し、『櫻画報』の成功によって一躍パロディ漫画の旗手となります。さらに70年代末より小説を書きはじめ、1981年には芥川賞を受賞しました。80年代以降は、「超芸術トマソン」「路上観察学会」「ライカ同盟」の活動のなかで、街中で発見した奇妙な物件を写真のかたちで記録・発表し続けました。また1999年、エッセイ『老人力』がブームを巻き起こしたことは、記憶に新しいところです。

このように赤瀬川は、とてもひとことでは言い表せないほど多彩な活動を展開してきました。一方で、様々な分野を大胆に横断しながらも、60年代から近作まで、その制作への姿勢は一貫しています。彼は何かを表現したり、一から創造することよりも、卓越した観察眼と思考力を駆使して、平凡な事物や常識をほんの少しズラし、転倒させることを好みます。そうすることで見慣れた日常を、ユーモアに満ちた新鮮な作品へと変えてしまいます。60年代の《模型千円札》《宇宙の缶詰》にしる、《トマソン》『老人力』にしる、このズラしと転倒の方法論から生まれました。

赤瀬川原平は、その独創的な作品によって日本の現代美術史のなかで揺るぎない地位を築く一方、いまなお若い作家たちに刺激を与え続けています。本展は、500点を超える赤瀬川の多彩な作品・資料を通して、50年におよぶ氏の歩みを一望します。20年前に名古屋美術館で開かれた「赤瀬川原平の冒険-脳内リゾート開発大作戦」を除けば、これまでその活動が本格的に回顧される機会はありませんでした。今回、60年代の前衛美術はもちろんのこと、70年代の漫画・イラストレーション、80年代のトマソン・路上観察学会の仕事にも大きなスペースを割り、美術分野を中心に、この作家の幅広い活動を展覧します。さらに土方巽、唐十郎、足立正生、小野洋子、瀧口修造、林静一、つげ義春、永山則夫、中平卓馬、鈴木志郎康らとの交友を示す作品資料も展示することで、当時のより広い文化状況の一端もお見せ出来ればと思います。

- 会 期 2014年10月28日(火)～12月23日(火・祝)
- 主 催 千葉市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 協 力 白石コンテンポラリーアート
- 協 賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
- 開館時間 10:00～18:00 金・土曜日 10:00～20:00 *入場受付は閉館の30分前まで
- 休 館 日 11月4日(火)、12月1日(月)
- 観 覧 料 一般 1000円(800円) 大学生 700円(560)円

* 小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

* ()内は前売り、団体20名以上、および市内にお住まいの65歳以上の方の料金

* 前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(10月19日まで)、ローソンチケット[Lコード:31360]、

セブンイレブン[セブンコード:033-362]および、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(12月23日まで)にて販売

*巡回先：大分市美術館 (2015/01/07～02/22)、広島市現代美術館 (2015/03/21～05/31)

見どころ

■ ネオ・ダダと読売アンデパンダン

赤瀬川は、ネオ・ダダ時代をはさみ、1958年の第10回から1963年の最終第15回まで、読売アンデパンダン展に出品しました。第13回展出品作《ヴァギナのシーツ(二番目のプレゼント)》(1961/94)、第15回展出品作《復讐の形態学(殺す前に相手をよく見る)》(1963)などを展示するとともに、現存しない作品も記録写真によって紹介します。

■ ハイレッド・センター

赤瀬川をはじめとするハイレッド・センターの関心は、《模型千円札》や《梱包作品》のようなオブジェから、イベントやパフォーマンスのような「直接行動」へと移っていきました。《シェルター計画》(1964)や《首都圏清掃整理促進運動》(1964)をはじめとする彼らの活動を、多彩な資料や当時の記録写真によって多面的に展観します。

■ 千円札裁判

法廷を舞台に、芸術と司法が異種格闘戦を繰り広げた千円札裁判。多数の前衛作品が法廷を占拠するといった興味深い出来事も起こりました。赤瀬川周辺の評論家や作家たちの支援のもと闘われたこの裁判を、数々の「押収品」、判決文などの資料、記録写真によって跡づけます。

■ 櫻画報とパロディ・ジャーナリズム

生活の糧として始めたイラストの仕事は、1970年頃から赤瀬川の活動の中核を占めるようになります。『朝日ジャーナル』誌に「櫻画報」、『現代の眼』誌に「現代考シリーズ」を連載し、70年代前半赤瀬川はパロディ漫画の旗手として活躍しました。『月刊漫画ガロ』掲載の「お座敷」をはじめ、原画類を中心に展示を構成。初公開のものも多数含まれます。

■ 超芸術トマソンと路上観察学会

赤瀬川は、路上で偶然発見した「不動産に付着して美しく保存されている無用の長物」トマソンを、『写真時代』の連載で世に広めていきます。そして藤森照信、林丈二、松田哲夫、南仲昉らとともに1986年に結成した「路上観察学会」の活動を通して、さらなる路上観察の可能性を探求しました。多数の写真プリントとともに、美学校の弟子と結成した「トマソン観測センター」関連の物品も展示します。

■ ライカ同盟と中古カメラ

80年代に始めた中古カメラ収集の趣味をきっかけとして、1992年、ライカ愛好者秋山祐徳太子、高梨豊と「ライカ同盟」を結成した赤瀬川。その活動を通して、路上観察の楽しさを追いかけて行きます。『アサヒカメラ』誌上に掲載したカメライラストや秋山、アンリ菅野とともに描いた油彩風景画など、趣味人赤瀬川の新境地をご覧ください。

作家略歴

1937年	横浜の本牧町に生まれる。
1941年	大分へ転居。吉村益信、磯崎新と知り合う。
1952年	名古屋へ転居、旭丘高校美術科へ転校。同級生に荒川修作がいた。
1955年	武蔵野美術学校油絵科進学。
1958年	第10回読売アンデパンダン展に初出品。
1960年	「ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ」結成に参加。
1963年	高松次郎、中西夏之とともに「ハイレッド・センター」(3人の頭文字に由来)を結成。《シェルター計画》《首都圏清掃整理促進運動》などのイベント・パフォーマンスを行う。第15回読売アンデパンダン展に《復讐の形態学(殺す前に相手をよく見る)》出品。
1965年	《模型千円札》などの作品が通貨及証券模造取締法違反に問われ、起訴される。
1967年	東京地裁一審にて「懲役3年、執行猶予1年、原銅版没収」の判決がくだされる。
1970年	最高裁で有罪が確定。美学校講師となる。
1970年	『朝日ジャーナル』誌上で「櫻画報」を翌年にかけて連載。
1972年	「超芸術トマソン」のはじまりである《四谷階段》を発見。
1981年	小説『父が消えた』で第84回芥川賞受賞。
1986年	「路上観察学会」設立。
1992年	「ライカ同盟」結成。
1998年	エッセイ『老人力』がベストセラーとなり、同年の流行語大賞を受賞。



関連企画

■ トークショー

①「路上観察学会VSライカ同盟」(往復はがきによる事前申込制)

出演: 藤森照信 + 秋山祐徳太子 + 松田哲夫

11月1日(土) / 15:00~(14:30開場) / 11階講堂にて /

聴講無料 / 定員150名

②「原平さんは弟子の七光り」(往復はがきによる事前申込制)

出演: 南伸坊 + 久住昌之 + 松田哲夫

11月15日(土) / 14:00~(13:30開場) / 11階講堂にて /

聴講無料 / 定員150名

③「ハイレッド・センター、内科画廊とその周辺」

(往復はがきによる事前申込制)

出演: 田名網敬一 + 谷川晃一 + 山下裕二

12月6日(土) / 14:00~(13:30開場) / 11階講堂にて /

聴講無料 / 定員150名

[申込方法]

上記3イベントとも、往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号
希望のイベント名、参加人数(2名まで)を明記の上 〒260-8733 千
葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 イベント係 まで

※お申込は1つのイベントにつき1通まで、申込多数の場合は抽選

※申込締切 ①10月22日(水)、②11月5日(水)、③11月26日(水)、
④12月10日(水) 必着

■ ワークショップ

④「多元宇宙の缶詰」(往復はがきによる事前申込制)

赤瀬川の《宇宙の缶詰》をもとに、アーティストの奥村雄樹が考案した
参加型のプロジェクトです。奥村の監修のもと、参加者は《宇宙の缶詰》
の自分だけのバージョンを制作します。

ゲスト: 永井均(哲学者 / 日本大学教授)

参加者は紙ラベルの缶詰1個をご持参ください。(詳細は当館ホーム
ページをご覧ください)

12月21日(日) / 13:00より(12:30開場) / 11階講堂にて /

参加無料 / 定員20名

■ ギャラリートーク

担当学芸員による 10月29日(水) 14:00より

ボランティアスタッフによる 会期中の毎週水曜日(10月29日を除く)

*水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。

*混雑時は中止する場合があります。

■ 市民美術講座

「赤瀬川原平 - 千円札裁判時代の制作活動」

講師: 水沼啓和(当館主任学芸員)

11月29日(土) / 14:00~(13:30開場) / 11階講堂にて /

聴講無料 / 先着150名

「赤瀬川原平交友録 - 1960年代を中心に」

講師: 水沼啓和(当館主任学芸員)

12月13日(土) / 14:00~(13:30開場) / 11階講堂にて /

聴講無料 / 先着150名

記者レクチャー

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、
その後展示室をご覧ください。

10月28日(火) / 14:00より(1時間程度) / 10階会議室にて(その後、8・7階展示室へご案内いたします)

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

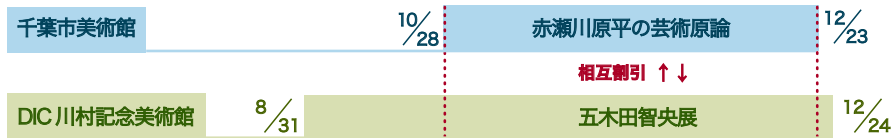
DIC 川村記念美術館との提携

本展では、より多くの方に現代美術に親しんでいただくため、千葉県佐倉市にある DIC 川村記念美術館と相互割引を実施いたします。

■ チケット半券提示による相互割引

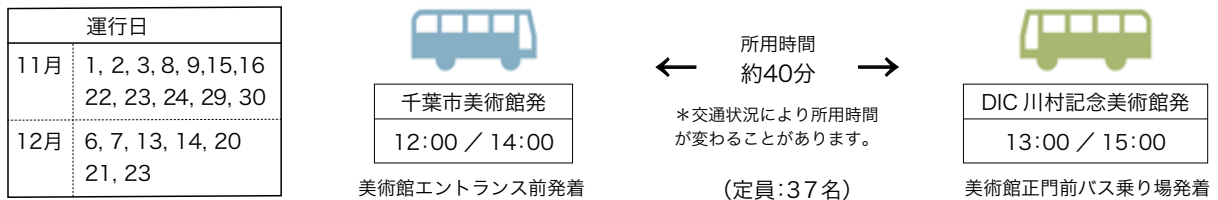
DIC 川村記念美術館で開催される「五木田智央展」(8/31～12/24)の会期中に相互割引を行います。対象チケットの半券(有料券のみ)をご呈示いただいたお客様には、入場料を割引させていただきます。

千葉市美術館 一般 1000 円→800 円 大学生 700 円→560 円
 DIC 川村記念美術館 一般 1200 円→1000 円 学生・65 歳以上 1000 円→800 円



■ 無料往復バス

「赤瀬川原平の芸術原論」展と DIC 川村記念美術館の「五木田智央展」の会期が重なる期間の土・日・祝日に、両館を往復する無料バスを運行します。



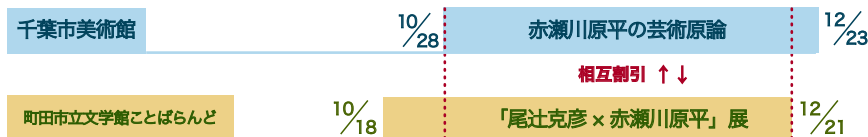
町田市立文学館ことばらんととの提携

本展では、町田市立文学館ことばらんどで開催される「尾辻克彦 × 赤瀬川原平」展と提携し、相互割引を実施します。

■ チケット半券提示による相互割引

町田市立文学館ことばらんど「尾辻克彦 × 赤瀬川原平」展 (10/18～12/21)の会期中に相互割引を行います。対象チケットの半券(有料券のみ)をご呈示いただいたお客様には、入場料を割引させていただきます。

千葉市美術館 一般 1000 円→800 円 大学生 700 円→560 円
 町田市立文学館ことばらんど 一般 400 円→300 円 大学生 200 円→150 円



次回展予告

ブラティスラヴァ世界絵本原画展 —絵本をめぐる世界の旅— 会期:2015年1月4日(日)～3月1日(日)

スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで2年に一度開催される絵本原画のコンペティションから、第24回展(2013年9月)の受賞作品および日本からの参加作品を中心に紹介。また、特別展示として49カ国に上る参加国の中からユニークな作品を取り上げ、絵本をめぐる小さな世界旅行をお楽しみいただきます。

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。

赤瀬川原平の芸術言論 1960年代から現在まで



1. 《ヴァギナのシート》
（二番目のプレゼント）
1961/1994年
作家蔵 名古屋市美術館寄託



6. 『漫画主義』
No.6ポスター
1969年
作家蔵
協力:白石コンテンポラリーアート



2. 《不在の部屋》
1964/1994年
名古屋市美術館蔵



7. 『櫻画報』第23号(花嵐一)より
1971年
作家蔵
協力:白石コンテンポラリーアート



3. 《復讐の形態学》
（殺す前に相手をよく見る）
1963年
名古屋市美術館蔵



8. 《大日本零円札》
1967年
作家蔵
協力:白石コンテンポラリーアート



4. 《押収品・模型千円札III》
梱包作品(かばん)》
1963年
名古屋市美術館蔵



9. 《トマソン黙示録》
真空の踊り場・
四谷階段》
1988年
大分市美術館蔵



5. 《宇宙の缶詰》
1964/1994年
作家蔵
協力:白石コンテンポラリーアート



10. 《ライカIIIg》
2000年
作家蔵
協力:資生堂

「赤瀬川原平の芸術言論 1960年代から現在まで」展
 広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
 原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
 広報担当 行
 FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：5cm 四方、など）</small> ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 赤瀬川原平 《ヴァギナのシート(二番目のプレゼント)》 1961/1994年 作家蔵 名古屋市美術館寄託
2. 赤瀬川原平 《不在の部屋》 1964/1994年 名古屋市美術館蔵
3. 赤瀬川原平 《復讐の形態学(殺す前に相手をよく見る)》 1963年 名古屋市美術館蔵
4. 赤瀬川原平 《押収品・模型千円札III梱包作品(かばん)》 1963年 名古屋市美術館蔵
5. 赤瀬川原平 《宇宙の缶詰》 1964/1994年 作家蔵 協力：白石コンテンポラリーアート
6. 赤瀬川原平 『漫画主義』 No.6ポスター 1969年 作家蔵 協力：白石コンテンポラリーアート
7. 赤瀬川原平 『櫻画報』第23号(花嵐一)より 1971年 作家蔵 協力：白石コンテンポラリーアート
8. 赤瀬川原平 《大日本零円札》 1967年 作家蔵 協力：白石コンテンポラリーアート
9. 赤瀬川原平 《トマソン黙示録真空の踊り場・四谷階段》 1988年 大分市美術館蔵
10. 赤瀬川原平 《ライカIIIg》 2000年 作家蔵 協力：資生堂

■ プレゼント用招待券申込

（ご希望の場合はチェックをつけてください）

5組 10名様分 希望します。

（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先
 ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311(代表) / 043-221-2313(直通)

Fax. 043-221-2316

HP. <http://www.ccma-net.jp/>

担当学芸員：水沼 啓和

広報担当：磯野 愛

赤瀬川原平の芸術原論 1960年代から現在まで

“The Principles of Art” by Genpei Akasegawa: From 1960s to the present

記者レクチャー参加申込書

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。
スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧いただきます。

10月28日(火) 14:00より(1時間程度) 10階会議室にて

*その後、8・7階展示室へご案内いたします

参加ご希望の方は下記にご記入の上、こちらの用紙を
FAX(043-221-2316) までご返信ください。

ご芳名

ご所属

貴媒体名

お電話番号

E-mail address

問い合わせ先

広報担当 磯野 愛

Tel. 043-221-2313 (直通)

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

HP. <http://www.ccma-net.jp/>